

事務事業名		永井隆記念館施設整備事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総 計 画 体 系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	社会教育G	課長名	奥井雅司
	施策名	(29)平和と人権の尊重		担当者名	三島祐一	電話番号	40-1073 (内線) 2242
	目的 対 象	市民	意 図	平和の意義を理解するとともに、人権を守り、お互いを尊重しあう。			
	基本事業名	(085)学校・家庭における平和・人権教育の推進		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 2 5 1 0 0 2	社会教育施設整備事業 永井隆記念館施設整備事業	
目的 対 象	市民・児童生徒	意 図	平和・人権について学び、人権を尊重し合う。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H29 年度 ~ R2 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
老朽化した施設の整備を目的に、永井隆記念館の建替え工事を行う。
H29 基本計画策定・基本設計 H30 実施設計・取壊し・敷地造成 R元 建設工事・敷地造成(繰越分) R2 建設工事 R3.4 供用開始

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 測量調査 用地買収 解体工事 実施設計 施設建設工事	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 施設建設工事(モニュメント制作含む) 開館準備				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	永井隆記念館整備に関する委員会開催数	回	4	2	0	1
イ	契約数	件	4	8	6	11
ウ	工事の進捗率	%	6	30	50	100
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標						
	市民・児童生徒	ア	人口	人	37,794	37,012	36,284	37,004
		イ	児童生徒	人	2,803	2,783	2,697	2,667
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標							
平和学習等の活動に対する市民の意識が高まる	ア	平和に関する活動に参加した市民の割合	%	10.7	14.5	13.8	15.0	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
委託料:6,903千円、工事請負費:46,552千円(繰越:6,452千円、現年:40,100千円)、補償費:167千円		財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
地方債の内訳 合併特例債:49,400千円			県支出金	千円				
			地方債	千円	6,800	83,100	49,400	283,100
			その他	千円		7,000	3,000	65,742
		一般財源	千円	5,286	19	1,222	217	
		事業費計(A)	千円	12,086	90,119	53,622	349,059	
		正職員従事人数	人	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	1,800	2,000	2,000		
		人件費計(B)	千円	7,339	8,664	8,480		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	19,425	98,783	62,102		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
S45年の建設から47年が経過し施設が老朽化していた。H28年2月には地元自主組織等で組織された永井隆記念館整備促進委員会より建設についての要望書が提出されている。	H29年度に雲南市三刀屋町永井隆記念館整備に関する委員会を立ち上げ、整備についての検討を行ないながら事業を進めている。	整備に関する委員会では、博士の顕彰展示について良いものを求める意見や図書室や研修室について市民の生涯学習拠点としての機能を求める意見等がある。また、生い立ちの家や飯石小学校等との連携も施設整備と併せて求められている。

事務事業名	永井隆記念館施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	関係機関や市民の代表と協議を行いながら、事業を進めており、今後もその手法で成果が向上するよう進めていく。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	平和学習も含めた生涯学習の環境整備が損なわれる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		市内類似施設はなく、他事業との整理統合は考えられない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業費(工事費等)の管理に努めており、これ以上の事業費削減は見込めない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限の人員であり、また業務としても必要最低限なものであり削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		全市民の利便性向上を図ることが目的の建替え工事であり、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		平成30年度に完成した実施設計に基づいて各種工事を発注し、整備事業の推進に取り組んだ。
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		
引き続き関係機関や市民代表と協議を行いながら、適切な整備手順及び方法に留意しつつ、事業を進めていく。また、開館後の運営形態についても議論を深めていく。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				